

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-534791(P2004-534791A)

【公表日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-045

【出願番号】特願2003-503194(P2003-503194)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 7/16

【F I】

A 6 1 K 7/16

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月15日(2005.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

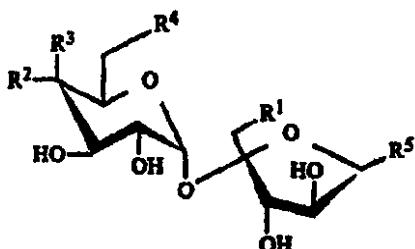
【請求項1】

シェル材料およびコア材料からなるマイクロカプセル組成物であって、ここで、このマイクロカプセルは、

a) チモール、ユーカリブトール、サリチル酸メチルおよびメントールからなる精油混合物；および

b) 式：

【化1】



(式中、R¹はヒドロキシ基または塩素原子であり；R²およびR³はそれぞれヒドロキシ基および水素原子、塩素原子および水素原子、または水素原子および塩素原子であり、4-位はD-配置であり、R⁴はヒドロキシ基であるか；またはR¹、R²、R³およびR⁵の少なくとも2つが塩素原子である場合には、R⁴はヒドロキシ基または塩素原子であり；そしてR⁵はヒドロキシ基または塩素原子であるが、ただしR¹、R²、R³およびR⁵の少なくとも1つが塩素原子である)を有するクロロデオキシスクロース誘導体

を含有し、またこのシェル材料は迅速に溶解するものである、上記のマイクロカプセル組成物。

【請求項2】

シェル材料はポリビニルアルコール、ゼラチン、プルラン、ワックス、ガム、およびシュガーキャンディーからなる群より選択される請求項1記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項3】

マイクロカプセルは球形または橢円形の形態である請求項1または2に記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項 4】

マイクロカプセルは直径 2 mm ~ 9 mm であり、シェルの壁の厚さは 30 μm ~ 2 mm である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項 5】

さらに湿潤剤を含む請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項 6】

マイクロカプセルは 60 秒未満で溶解する請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のマイクロカプセル組成物。

【請求項 7】

クロロデオキシスクロース誘導体はスクラロースである請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のマイクロカプセル組成物。

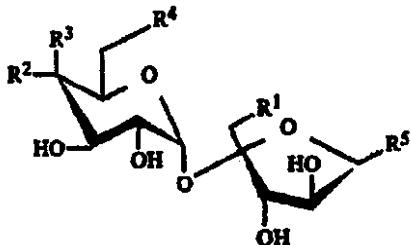
【請求項 8】

シェル材料およびコア材料からなるマイクロカプセル組成物であって、ここで、このマイクロカプセルは、

a) チモール、ユーカリプトール、サリチル酸メチルおよびメントールからなる精油混合物；

b) 式：

【化 2】



(式中、R¹ はヒドロキシ基または塩素原子であり；R² および R³ はそれぞれヒドロキシ基および水素原子、塩素原子および水素原子、または水素原子および塩素原子であり、4 - 位は D - 配置であり、R⁴ はヒドロキシ基であるか；または R¹、R²、R³ および R⁵ の少なくとも 2 つが塩素原子である場合には R⁴ はヒドロキシ基または塩素原子であり；そして R⁵ はヒドロキシ基または塩素原子であるが、ただし R¹、R²、R³ および R⁵ の少なくとも 1 つが塩素原子である) を有するクロロデオキシスクロース誘導体；および

c) 場合によって 15% までの水

を含有するが、但し、水が添加される場合には、コア材料が単一相を維持するように処理の間に水をマイクロカプセルから蒸発させるものとする、上記のマイクロカプセル組成物。

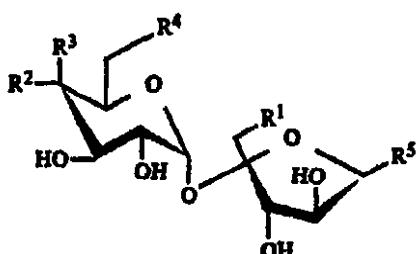
【請求項 9】

シェル材料およびコア材料からなるマイクロカプセル組成物であって、ここで、このマイクロカプセルは、

a) チモール、ユーカリプトール、サリチル酸メチルおよびメントールからなる精油混合物；および

b) 式：

【化 3】



(式中、R¹はヒドロキシ基または塩素原子であり；R²およびR³はそれぞれヒドロキシ基および水素原子、塩素原子および水素原子、または水素原子および塩素原子であり、4-位はD-配置であり、R⁴はヒドロキシ基であるか；またはR¹、R²、R³およびR⁵の少なくとも2つが塩素原子である場合にはR⁴はヒドロキシ基または塩素原子であり；そしてR⁵はヒドロキシ基または塩素原子であるが、ただしR¹、R²、R³およびR⁵の少なくとも1つが塩素原子である)を有するクロロデオキシクロース誘導体；および

c) アセスルファーム

を含有し、ここでクロロデオキシクロース誘導体とアセスルファームの比は1:1~9:1である、上記のマイクロカプセル組成物。